

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：(A組：磯村 海)

使用教科書：(新編現代の国語(東京書籍))

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を把握し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活に必要な思考力や想像力、伝え合う力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、言葉を吸収して理解を深め、言葉を使用して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。	・文章の種類を踏まえ、構成・展開・表現などから内容を捉え、解釈することができる。 ・相手を意識して、構成や展開を工夫し、筋道の通った表現をすることができる。	・試行錯誤しながら、言葉で表現されたものを理解し、自分も言葉で表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞書読					
1 学期	単元:随筆の構成を理解しよう 【知識及び技能】 ・本文の漢字について、正しく読み書きしたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとする。	『ルリボシカミキリの青』 (福岡伸一)  ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の思いを捉える。		○	【知識・技能】 ・本文の漢字について、正しく読み書きしている。 【思考・判断・表現】 ・随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとしている。	○	○	○	12
	単元:文章から作者の思いを捉えよう 【知識及び技能】 ・本文の語句のうち指示されたものについて意味や使われ方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の構成を把握し、話し合いながら粘り強く筆者の思いを捉えようとする。	『こそめスープ』 (村田沙耶香) 加えて、上記以外の随筆 ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の思いを捉える。		○	【知識・技能】 ・本文の語句のうち指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・随筆の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の思いを把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の構成を把握し、話し合いながら粘り強く筆者の思いを捉えようとしている。	○	○	○	13
	単元:自分の思いを随筆にしてみよう 【知識及び技能】 ・言葉の使い方、文、話、文章の効果的な組立て方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマについて読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとする。	・「好きなこと、もの」をテーマにして随筆を書く。	○		【知識・技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・読み手の理解が得られるよう、構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマについて読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとしている。	○	○	○	13
2 学期	単元:評論の構成を理解しよう 【知識及び技能】 ・具体例と筆者の意見の関係に注目しながら読み、文章の構成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・評論の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の考えを把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとする。	『未来をつくる想像力』 (石田英敬)  ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の考えを捉える。		○	【知識・技能】 ・具体例と筆者の意見の関係に注目しながら読み、文章の構成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・評論の構成や内容について叙述を基に的確に捉え、筆者の考えを把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとしている。	○	○	○	15
	単元:文章から筆者の考えを捉えよう 【知識及び技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の文章を読み、それぞれの内容を把握し、情報を関係づけながら自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の文章の内容を把握し、相違点を踏まえて、話し合いながら粘り強く自分の考えを深めようとする。	『無彩色の色』 (港千尋) 加えて、上記以外の日本文化に関する文章  ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら筆者の考えを捉える。 ・別の文章と読みくらべ、相違点を把握し、自分の考えを深める。		○	【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞を理解している。 【思考・判断・表現】 ・複数の文章を読み、それぞれの内容を把握し、情報を関係づけながら自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章の内容を把握し、相違点を踏まえて、話し合いながら粘り強く自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	15

	<p>単元:意見文を書いてみよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の妥当性や信頼性について理解し、活用できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書く内容を明確にするために情報を分析し、意見を支える情報を選択できる。</li> <li>序論・本論・結論の構成で、自分の意見を筋道立てて主張できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妥当性や信頼性を見極めて書く材料を集め、読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしの中からテーマを選び、話し合いも踏まえながら、意見文を書く。</li> <li>一人1台端末を活用する。</li> </ul>	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の妥当性や信頼性について理解し、活用している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書く内容を明確にするために情報を分析し、意見を支える情報を選択している。</li> <li>序論・本論・結論の構成で、自分の意見を筋道立てて主張している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妥当性や信頼性を見極めて書く材料を集め、読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	18	
3 学 期	<p>単元:働くことについてイメージを広げよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文の語句のうち指示されたものについて意味や使われ方を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の文章を読み、それぞれの内容を把握し、情報を関係づけながら自分の考えを深める。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の文章の内容を把握し、相違点を踏まえて、話し合いながら粘り強く自分の考えを深めようとする。</li> </ul>	<p>『鍋洗いの日々』(村上信夫) 加えて、上記以外の働くことに関する文章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に沿って本文を読む。</li> <li>本文を踏まえ、話し合いながら筆者の考えを捉える。</li> <li>別の文章と読みくらべ、相違点を把握し、自分の考えを深める。</li> </ul>	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文の語句のうち指示されたものについて意味や使われ方を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の文章を読み、それぞれの内容を把握し、情報を関係づけながら自分の考えを深めている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数の文章の内容を把握し、相違点を踏まえて、話し合いながら粘り強く自分の考えを深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	15	
	<p>単元:職業について調べ、発表しよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉の特徴を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたい話題に関する情報を収集、比較、分類して、自己の意見や見方を話すことができる。</li> <li>事実や意見を区別して、伝えたいことが的確に伝わる構成を意識し話すことができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職業について伝え合う活動を通して、事実と意見を区別し、伝わりやすい構成を粘り強く考えて、発表をよりよいものにしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ職業について調べ、話し合いも踏まえながら整理して発表する。</li> <li>一人1台端末を活用する。</li> </ul>	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉の特徴を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたい話題に関する情報を収集、比較、分類して、自己の意見や見方を話している。</li> <li>事実や自己の意見を区別し、伝えたいことが的確に伝わる構成を意識し話している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職業について伝え合う活動を通して、事実と意見を区別し、伝わりやすい構成を粘り強く考えて、発表をよりよいものにしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	16	
								合計	117

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：（A組：磯村 海）

使用教科書：（新編言語文化（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を把握し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活に必要な思考力や想像力、伝え合う力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、言葉を吸収して理解を深め、言葉を使用して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	・文章の種類を踏まえ、構成・展開・表現などから内容を捉え、解釈することができる。 ・相手を意識して、構成・展開・表現などを工夫し、内容が効果的に伝わる文章を書くことができる。	・試行錯誤しながら、言葉で表現されたものを理解し、自らも言葉で表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話	聞	書	読						
1 学 期	単元：短歌をつくらう 【知識及び技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・適切な題材を決め、表現したいことを明確にしたうえで、効果的に伝わるように粘り強く表現の工夫を行う。	和歌・短歌 ・学習課題に沿って短歌を読む。 ・読んだ短歌を踏まえ、話し合いながら適切な題材を決め、表現したいことを明確にしたうえで、効果的に伝わるような表現の工夫を行う。				○						13
	単元：詩を読み込んでみよう 【知識及び技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、詩に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、粘り強く自分の考えを持つ。	『I was born』やその他の吉野弘作品。 ・学習課題に沿って詩を読む。 ・読んだ詩を踏まえ、話し合いながら自分の考えを持つ。				○						12
	単元：小説の構成を理解しようとする 【知識及び技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・小説の構成や内容について叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、本文の構成を把握し、粘り強く本文を理解しようとする。	『デューク』やその他の江國香織作品。『夢十夜』（夏目漱石）。 ・学習課題に沿って本文を読む。 ・本文を踏まえ、話し合いながら内容や構成を捉える。				○						19

2 学 期	<p>単元：古典作品と現代を比べてみよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、本文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、粘り強く自分の考えを持つとする。</li> </ul>	<p>『徒然草』 今日はそのことをなさんと思へど 『枕草子』 うつくしきもの 『方丈記』 行く河の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って本文を読む。</li> <li>・本文を踏まえ、話し合いながら自分の考えを持つ。</li> </ul>			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、本文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、粘り強く自分の考えを持つようとしている。</li> </ul>				18
3 学 期	<p>単元：古典の物語作品を読んでみよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとする。</li> </ul>	<p>『伊勢物語』 芥川 筒井筒</p> <p>『平家物語』 木曾の最期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って本文を読む。</li> <li>・本文を踏まえ、話し合いながら作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</li> </ul>			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。</li> </ul>				<p>16</p> <hr/> <p>合計</p> <hr/> <p>78</p>

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語 科目 国語表現

教科：国語

科目：国語表現

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（ 組：磯村 海 ）

使用教科書：（ 国語表現（大修館書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を把握し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活に必要な思考力や想像力、伝え合う力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、言葉を吸収して理解を深め、言葉を使用して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	・表現媒体を踏まえ、構成・展開・表現などから内容を捉え、解釈することができる。 ・表現媒体や相手を意識して、構成や展開を工夫し、筋道の通った表現をすることができる。	・試行錯誤しながら、言葉で表現されたものを的確に理解し、また、自らも伝わりやすく表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書					
1 学期	単元:適切な言葉の使い方 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや考えを説明したりする際に、適切な言葉を使い、表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、言葉の適切な使い方を理解し、積極的に活用する。	1 言葉と出会う  ・適切な言葉の使い方について、講義と演習を通して、理解し、活用する。	○			【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 【思考・判断・表現】 ・自分の思いや考えを説明したりする際に、適切な言葉を使い、表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、言葉の適切な使い方を理解し、積極的に活用している。	○	○	○	12
	単元:事実と意見 【知識及び技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の問題から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、事実と意見の違いを理解し、それを活用した言語活動に取り組む。	2 伝える、伝え合う  ・講義と実践を通して、事実と意見の違いを理解し、双方の差異を踏まえた言語活動に取り組む。 ・他者と話し合いながら、事実を適切に説明する方法を身に付ける。	○			【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・実社会の問題から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、事実と意見の違いを理解し、それを活用した言語活動に取り組んでいる。	○	○	○	13
	単元:マイニュース記事の書こう 【知識及び技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の問題から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマについて読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとする。	2 伝える、伝え合う  ・講義と実践を通して、事実と意見の違いを理解し、双方の差異を踏まえたマイニュース記事の作成に取り組む。 ・他者と話し合いながら、事実を適切に説明する方法を身に付ける。	○			【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・実社会の問題から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマについて読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとしている。	○	○	○	13
	単元:ネット社会について考え、メディアの特徴を比べよう 【知識及び技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・設定した題材について調べたことを、図表や画像なども用いながら発表資料にまとめ、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、ネット社会やメディアの特徴を把握し、粘り強く理解しようとする。	5 メディアを駆使する  ・ネット社会との付き合い方を、文章などを通して、実体験も踏まえながら、話し合い、考える。 ・メディアを比較し、それぞれの特徴を考える。 ・共通の事案について、複数のメディアを見比べ、表現の違いを調べる。	○			【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・設定した題材について調べたことを、図表や画像なども用いながら発表資料にまとめ、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、ネット社会やメディアの特徴を把握し、粘り強く理解しようとしている。	○	○	○	17

2 学 期	<p>単元:様々なメディアを活用してみよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務的な手紙や電子メールにおいて、伝えたいことを明確にし、的確に説明したりするなど、表現の仕方を工夫することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、様々なメディアの特徴を把握し、粘り強く表現の仕方を工夫しようとする。</li> </ul>	5	メディアを駆使する			○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務的な手紙や電子メールにおいて、伝えたいことを明確にし、的確に説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、様々なメディアの特徴を把握し、粘り強く表現の仕方を工夫している。</li> </ul>	○	○	○	16	
	<p>単元:メディアを選んで発表しよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現方法の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けことができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現方法の選択を含め、表現の仕方を工夫することができる。</li> <li>・受け取り手に対して自分の思いが効果的に伝わるように表現されているかなどを吟味して、全体の内容を整えたり、受け取り手からの助言などを踏まえて、表現方法の特長や課題を捉え直したりすることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、適切な表現方法を選択し、粘り強く表現の仕方を工夫しようとする。</li> </ul>	5	メディアを駆使する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「好きなこと、もの」をテーマにして、使用するメディアを自分で決めて、発表する。</li> <li>・他者と話し合いながら、よりよい表現方法に仕上げていく。</li> </ul>			○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現方法の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現方法の選択を含め、表現の仕方を工夫している。</li> <li>・受け取り手に対して自分の思いが効果的に伝わるように表現されているかなどを吟味して、全体の内容を整えたり、受け取り手からの助言などを踏まえて、表現方法の特長や課題を捉え直したりしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、適切な表現方法を選択し、粘り強く表現の仕方を工夫しようとする。</li> </ul>	○	○	○	15
3 学 期	<p>単元:自分を言葉にしよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。</li> <li>・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、自分のことについて言葉にしていき、それを伝えるように内容・構成を粘り強く考え、工夫しようとする。</li> </ul>	4	自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別での活動やグループでの話し合いなどの活動を通して、自分自身のことを言葉に表していく。</li> <li>・自己PRの例を参考に、具体例などを用いながら、自己PRの原稿を作成し発表する。</li> </ul>			○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</li> <li>・自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、自分のことについて言葉にしていき、それを伝えるように内容・構成を粘り強く考え、工夫している。</li> </ul>	○	○	○	15
	<p>単元:将来の自分を言葉にしてみよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を明確にすることができる。</li> <li>・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、自分の将来について言葉にしていき、それを伝えるように内容・構成を粘り強く考え、工夫しようとする。</li> </ul>	4	自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別での活動やグループでの話し合いなどの活動を通して、自分の将来のことを言葉に表していく。</li> <li>・メディアの活用など、これまでの学習を参考にして、つきたい職業や進学先について調べてまとめる。</li> </ul>			○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を明確にしている。</li> <li>・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿って、自分の将来について言葉にしていき、それを伝えるように内容・構成を粘り強く考え、工夫している。</li> </ul>	○	○	○	16
											合計	117

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 A組

教科担当者：（A組：磯村 海）

使用教科書：（国語表現（大修館書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を把握し、適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活に必要な思考力や想像力、伝え合う力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、言葉を吸収して理解を深め、言葉を使用して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	・表現媒体を踏まえ、構成・展開・表現などから内容を捉え、解釈することができる。 ・表現媒体や相手を意識して、構成や展開を工夫し、筋道の通った表現をすることができる。	・試行錯誤しながら、言葉で表現されたものを的確に理解し、また、自らも伝わりやすく表現しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書 読						
1 学期	単元：事実と意見の復習 【知識及び技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の問題から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、事実と意見の違いを理解し、それを活用した言語活動に取り組む。	2 伝える、伝え合う  ・講義と実践を通して、事実と意見の違いを理解し、双方の差異を踏まえた言語活動に取り組む。 ・他者と話し合いながら、事実を適切に説明する方法を身に付ける。	○		【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・実社会の問題から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、事実と意見の違いを理解し、それを活用した言語活動に取り組んでいる。	○	○	○	12
	単元：マイニュース記事の書こう 【知識及び技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・実社会の問題から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマについて読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとする。	2 伝える、伝え合う  ・講義と実践を通して、事実と意見の違いを理解し、双方の差異を踏まえたマイニュース記事の作成に取り組む。 ・他者と話し合いながら、事実を適切に説明する方法を身に付ける。	○		【知識・技能】 ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・実社会の問題から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・テーマについて読み手に伝わるよう構成や展開を工夫し、内容を粘り強く考えてよりよいものにしようとしている。	○	○	○	13
2 学期	単元：自分の思いを言葉にして将来につなげよう 【知識及び技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を明確にすることができる。 ・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、自分の将来について言葉にしていき、それを伝えるように内容・構成を粘り強く考え、工夫しようとする。	4 自己PRと面接  ・個別での活動やグループでの話し合いなどの活動を通して、自分の将来のことを言葉に表していく。 ・昨年度に調べた、つきたい職業や進学先を踏まえ、そこに至るための言葉話したり、書いたりする。	○		【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を明確にしている。 ・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、自分の将来について言葉にしていき、それを伝えるように内容・構成を粘り強く考え、工夫している。	○	○	○	22
	単元：文章の特徴に沿って自分の考えをまとめよう 【知識及び技能】 ・小論文などの特徴や構成、展開の仕方などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、小論文など文章の特徴を把握し、粘り強く修正しながら文章を書こうとする。	3 小論文・レポート入門  ・個別での活動やグループでの話し合いなどの活動を通して、文章の特徴を踏まえて自分の考えを書く。	○		【知識・技能】 ・小論文などの特徴や構成、展開の仕方などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、小論文など文章の特徴を把握し、粘り強く修正しながら文章を書こうとしている。	○	○	○	15
3 学期	単元：メディアを選んで発表しよう 【知識及び技能】 ・表現方法の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・受け取り手に対して自分の思いが効果的に伝わるように表現されているかなどを吟味して、全体の内容を整えたり、受け取り手からの助言などを踏まえて、表現方法の特長や課題を捉え直したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、適切な表現方法を選択し、粘り強く表現の仕方を工夫しようとする。	5 メディアを駆使する  ・使用するメディアとテーマを自分で決めて、発表する。 ・他者と話し合いながら、よりよい表現方法に仕上げていく。			【知識・技能】 ・表現方法の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。 【思考・判断・表現】 ・受け取り手に対して自分の思いが効果的に伝わるように表現されているかなどを吟味して、全体の内容を整えたり、受け取り手からの助言などを踏まえて、表現方法の特長や課題を捉え直したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、適切な表現方法を選択し、粘り強く表現の仕方を工夫しようとする。	○	○	○	16
								合計	78

高等学校 令和8年度

教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者： 相樂 昇

使用教科書： ( 数研出版 新 高校の数学 I )

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数字のよさを認識し積極的に数字を活用しようとする態度、粘り強く考え数字的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元：第1章 数と式 1 節 数と式の計算  ・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。 ・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。	第1章 数と式 1 節 数と式の計算 1. 計算の基本 2. 単項式と多項式 3. 多項式の加法と減法 4. 多項式の乗法 5. 展開の公式 6. 因数分解 7. 展開、因数分解の工夫 8. 根号を含む式の計算 9. 実数	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 【思考・判断・表現】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乘法公式や因数分解の公式が利用できることに関心をもち、その計算に公式を利用しようとしている。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。	○	○	○	25
単元：2 節 1次不等式  ・不等式の解の意味・不等式の性質について理解し、1次不等式が解けるようにする。	2 節 1次不等式 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の解	【知識・技能】 ・数量関係を1次不等式で表すことができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質を理解している。 ・1次不等式や連立不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・不等号の性質を等号の性質と対比してとらえ、不等式の性質を基に1次不等式の解き方を考察できる。 ・日常の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数量関係を不等式で表すことのよさが分かり、意欲的に考えようとしている。 ・具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。	○	○	○	17
単元：2 章 2次関数 1 節 2次関数のグラフ	2 章 2次関数 1 節 2次関数のグラフ 1. 関数	【知識・技能】 ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかきことが				



高等学校 令和8年度

教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者： 相樂 昇

使用教科書： ( 数研出版 新 高校の数学A )

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。  
数字のよさを認識し積極的に数字を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 うとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元：第1章 場合の数と確率 1節 場合の数 ・場合の数を求めるときの本格的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	第1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1. 集合 2. 集合の要素の個数 3. 和の法則と積の法則 4. 順列 5. 組合せ	【知識・技能】 ・共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合など集合に関する用語を理解し、それらを求めることができる。 ・集合の要素の個数を、数え上げることで求めることができる。 ・補集合や和集合の要素の個数の公式を理解し、それらを用いて要素の個数を求めることができる。 ・和の法則や積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 ・順列の意味を理解し、公式を利用することができる。 ・簡単な場合の数を、順列の考えを利用して求めることができる。 ・組合せの性質を理解し、公式を利用することができる。 ・様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・条件を満たすものを集合の要素として考え、表すことができる。 ・ベン図を利用して集合を図示することで、補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。 ・和の法則を、表を利用することで、また積の法則を、樹形図の特別な場合として考察することで見出すことができる。 ・となりあう場合の順列のような、特殊な条件が付く順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ・組合せの総数と順列の総数の関係を理解し、順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集合の考えについて興味をもち、いろいろな集合を表そうとする。 ・ベン図や公式を利用することで、集合の要素の個数を数学的に数えようとする。 ・場合の数を求めるのに、効率的に考えることができる法則（和の法則・積の法則）があることに興味をもち、使いこなそうとしている。 ・様々な場合の数を求めるのに、順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ・順列と組合せの違いや、様々な場合の数を求めるのに、組合せの考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ・組合せの考え方を利用して、図形の個数や遠回りをしない道順などの具体的な事象の場合の数を求めようとする。	○	○	○	21
1 学 期						

<p>単元：2節 確率</p> <p>・確率の意味と確率を求めるとき の基本的な法則や考え方について の理解を深め、それらを事象の考 察に活用できるようにする。</p>	<p>2節 確率</p> <p>1. 事象と確率 2. 確率の計算 3. 独立な試行と確率</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の定義を理解し、簡単な確率を求め ることができる。</li> <li>・確率の性質を理解している。</li> <li>・表や組合せの考えを活用して、確率を求め ることができる。</li> <li>・排反事象の意味を理解し、確率を求め ることができる。</li> <li>・余事象の意味を理解し、確率を求め ることができる。</li> <li>・試行が独立か、独立でないかを判断す ることができる。</li> <li>・独立な試行の確率を、公式を用いて求め ることができる。</li> <li>・反復試行の確率を、公式を用いて求め ることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行の結果を事象としてとらえ、事象を 集合と結びつけて考察することができる。</li> <li>・排反事象や余事象の確率などを利用して、 複雑な事象の確率を考察することができる。</li> <li>・独立な試行の確率を、具体的な例から直観 的に考えることができる。</li> <li>・反復試行の意味を理解し、確率の求め方 を組合せの考えと関連付けて考察する ことができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいころを何度も投げた実験において、あ る目が出る割合が一定の値に近づくこと に興味をもち、その値の求め方を考えよ うとする。</li> <li>・ものごとの起こりやすさを、数値を使っ て計算で求めようとする。</li> <li>・理論上のさいころと実生活におけるさい ころの厳密性の違いを知ること、数学が 理論的な思考によって成り立っているこ とに興味・関心をもつ。</li> <li>・これまでに学んだ確率の性質を利用して、 いろいろな場合の確率を意欲的に求めよ うとする。</li> <li>・独立な試行の確率や反復試行の確率につ いて、興味をもって求めようとする。</li> </ul>	○	○	○	18
<p>単元：第2章 図形の性質 1節 平面図形</p> <p>・平面図形の性質についての理解 を深め、それらを事象の考察に活 用できるようにする。</p>	<p>第2章 図形の性質</p> <p>1節 平面図形</p> <p>1. 図形の基本 2. 角の二等分線と線分の比 3. 三角形の外心、内心、重心 4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形 6. 円の接線 7. 方べきの定理 8. 2つの円 9. 作図</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の基本性質を理解し、それらを用い て角の大きさや辺の長さを求めること ができる。</li> <li>・角の二等分線と線分の比の定理を理解し、 それらを用いて辺や線分の長さを求め ることができる。</li> <li>・三角形の外心、内心、重心の定義とその 性質を理解し、それらを用いて角の大 きさや線分の長さを求めること ができる。</li> <li>・円周角の定理を理解し、角の大きさを 求めることができる。</li> <li>・円に内接する四角形の性質を理解し、 角の大きさを求めること ができる。</li> <li>・接線と弦のつくる角の性質を理解し、 角の大きさを求めること ができる。</li> <li>・方べきの定理を理解し、線分の長さを 求めることができる。</li> <li>・2つの円の位置関係には5つのパター ンがあることを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・角の大きさや辺の長さを求めるのに、 図形のどの基本性質を使えばよいか が判断できる。</li> <li>・角の二等分線と線分の比の定理を証明 するのに、既習事項を用いて、論理的 に考察することができる。</li> <li>・三角形の外心、内心、重心の性質を 証明するのに、既習事項を用いて、 論理的に考察することができる。</li> <li>・円周角の定理の逆を理解し、等しい 角に着目して考察することができる。</li> <li>・円に内接する四角形の性質やその逆 を証明するのに、既習事項を用いて、 論理的に考察することができる。</li> <li>・接線と弦のつくる角の性質を証明す る際に、場合分けをしながら考察す ることができる。</li> <li>・方べきの定理①の割線PCDを動的にと らえて接線PTを考えた場合が、方 べきの定理②であるという数学的 な見方ができる。</li> <li>・2つの円の位置関係を、動的な視点 によって観察・分類することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の基本性質について既に学んだ 事項を思い出し、それらを活用でき る場面を見いだそうとしている。</li> <li>・外角の二等分線についても内角の場合 と同様の定理が成り立つことに関 心をもつ。</li> <li>・三角形の外心、内心、重心に関する 性質に興味をもち、考察しよう とする。</li> <li>・四角形が円に内接する条件に関 心をもち、考察しようとする。</li> <li>・円の接線にはいろいろな性質がある ことを知り、それぞれの性質と活 用法について興味をもつ。</li> <li>・2つの円の位置関係について、中心 間の距離と半径の関係を積極的に 考察しようとする。</li> </ul>	○	○	○	21

2学期

3 学 期	単元：第3章 数学と人間の活動 ・整数の性質、点の位置の表し方、数学とゲーム・パズルとの関係について、数学的活動を通して理解を深め、それらを事象の考察に活用し、数学により興味をもってもらえるようにする。	第3章 数学と人間の活動 1. 約数と倍数 2. ユークリッドの互除法 3. 2進法	<b>【知識・技能】</b> ・約数と倍数、素数の定義を理解している。 ・自然数を素因数分解できる。 ・素因数分解を利用することで最大公約数と最小公倍数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を用いれば、素因数分解が難しい数についても最大公約数を求めることができることを理解している。 ・2進法について理解し、2進法で表された数を10進法で表すことができる。また、10進法で表された数を2進法で表すことができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・素因数分解を利用した最大公約数や最小公倍数の求め方を理解し、説明することができる。 ・最大公約数を利用して、長方形を敷き詰めることのできる最大の正方形の大きさについて考察することができる。 ・ユークリッドの互除法の仕組みについて、長方形を正方形に分割する図を通して直感的に理解し、考察することができる。 ・普段使用している記数法が10進法であると認識し、その仕組みを改めて考察することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・最大公約数の考えが、タイルを敷き詰めるといった日常生活における問題に適用できることに興味をもち、解決しようとしている。 ・ユークリッドの互除法の原理の説明に興味・関心をもつ。 ・素因数分解をしなくても、ユークリッドの互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもつ。 ・数の表し方には10進法以外にもいろいろ方法があることに興味をもち、2進法の他にも方法がないか調べようとする。	○	○	○	18
	合計						

**高等学校 令和8年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ**

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ 組

教科担当者： 相樂 昇

使用教科書： ( 数研出版 新 高校の数学Ⅱ )

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元：第1章 複素数と方程式 1節 式の計算 ・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 2節 複素数と方程式 ・数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。また、複素数を用いて、2次方程式やその解についてより一般的に考察できるようにする。	第1章 複素数と方程式 1節 式の計算 1. 式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 分数式の計算 2節 複素数と方程式 1. 複素数 2. 2次方程式の解と判別式 3. 解と係数の関係 4. 多項式のわり算 5. 因数定理 6. 高次方程式	【知識・技能】 ・3次式の展開・因数分解の公式を利用できる。 ・二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 ・分数式を約分することができる。 ・分数式の乗法・除法・加法・減法の計算ができる。 ・負の数の平方根を理解し、 $i$ を用いて処理することができる。 ・負の数の平方根を理解し、 $i$ を用いて処理することができる。 ・2次方程式の解の公式を利用して、2次方程式を解くことができる。 ・解と係数の関係を使って、2次方程式の2つの解の和、積を求めることができる。 ・多項式の割り算の計算方法を理解し、計算することができる。 ・剰余の定理を利用して、多項式を1次式で割ったときの余りを求めることができる。 ・因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・数学Ⅰで既習である2次式の展開の公式を利用して、3次式の展開の公式を導くことができる。 ・分数式の計算について、分数の計算と同じように考察することができる。 ・複素数の表記を理解し、複素数 $a+0i$ を実数 $a$ と同一視できる。 ・2次方程式の解について、実際に解を求めずとも、判別式で解の種類を判別できることを理解している。 ・やや複雑な2数を解にもつ2次方程式がどのようなものであるか、解と係数の関係を利用して考察することができる。 ・多項式を1次式で割ったときの余りを求めるのに、剰余の定理が利用できることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3乗に関わる展開の公式を自ら導こうとする。 ・数の範囲を実数から複素数へ拡張することについて、有理数から実数に拡張したことに関連させ、考察しようとする。 ・2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し、2次方程式の解を考察しようとする。 ・2次方程式の解に関する種々の問題を、解と係数の関係を利用して考察しようとする。 ・たまたまなどの工夫によって、よりよい方	○	○	○	40
1学期						



**高等学校 令和8年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ**

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組～ 組

教科担当者： 相樂 昇

使用教科書： ( 数研出版 新 高校の数学Ⅱ )

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元：第4章 指数関数・対数関数 1 節 指数関数 ・指数を実数まで拡張する意義を理解し、指数関数を事象の考察に活用できるようにする。 2 節 対数関数 ・対数の定義とその性質を理解し、対数関数や常用対数を事象の考察に活用できるようにする。	第4章 指数関数・対数関数 1 節 指数関数 1. 指数の拡張(1) 2. 累乗根 3. 指数の拡張(2) 4. 指数関数のグラフ 2 節 対数関数 1. 対数 2. 対数の性質 3. 対数関数のグラフ 4. 常用対数	【知識・技能】 ・指数が正の整数の場合に、指数法則を用いた計算をすることができる。 ・指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 ・累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。 ・指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を用いた計算をすることができる。 ・累乗根を含む計算では、分数の指数を利用して計算することができる。 ・指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・指数関数を含む方程式を解くことができる。 ・指数と対数とを相互に書き換えることができる。 ・対数の値を求めることができる。 ・対数の性質を利用して、種々の対数の値の計算ができる。 ・底の変換公式を適用することができる。 ・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ・常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。 ・常用対数を利用して、桁数の問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・指数が0や負の整数の場合も正の整数の場合と同様の指数法則が成り立つことを理解している。 ・指数が有理数の場合も整数の場合と同様の指数法則が成り立つことを理解している。 ・指数関数の増減によって、数の大小関係を判定することができる。 ・対数 $\log_a M$ が $M = a^p$ を満たす指数 $p$ を表していることを理解している。 ・指数法則を利用して、対数の性質を考察することができる。 ・対数関数の増減によって、数の大小関係を判定することができる。 ・ $n$ 桁の数を不等式で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数の範囲を正の整数から0や負の整数に拡張する過程に関心をもち、どのように定義すればよいかを調べようとする。 ・指数の範囲を整数から有理数に拡張する過程に関心をもち、どのように定義すればよいかを調べようとする。 ・指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。	○	○	○	30
1 学期						



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語基礎

教科： 外国語 科目： （英語基礎） 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ 組  
 教科担当者： （ A組：水谷 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）  
 使用教科書： （ VISTA English Communication I New Edition ）

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 外国語の知識を深め、聞く・読む・話す・書く技能を実践的に活用できるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面に応じて、外国語で情報や考えを理解し、適切に表現・伝達する力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 文化を理解し、相手に配慮しながら主体的に外国語でコミュニケーションを図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基礎的な語彙や文法、発音を理解し、簡単な言語活動を通じて基本的な英語能力を養う。聞く・話す・読む・書くの基礎的な技能を向上させ、日常的な場面で英語を使う力を育む。	簡単な英語で自分の意見を伝えたり、他者の意図を理解する力を高める。身近なテーマについて、基本的なコミュニケーションを行いながら、英語表現力を養う。	英語学習への意欲を高め、積極的に学ぼうとする態度を育む。異文化や多様な価値観に興味を持ち、尊重する姿勢を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	単元:The Aurora 【知識及び技能】 be動詞と一般動詞の過去形を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 美しいオーロラはどのようにして現れるのか、そのしくみについて、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 オーロラなどの不思議な自然現象について考える。	・オーロラが見られる地域や、オーロラはどのようにできるのか、またその特徴について知る。 ・be動詞、一般動詞の過去形を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	21
	単元:Soy Meat 【知識及び技能】 現在進行形、過去進行形を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 肉に代わる食品として注目されている大豆ミートの利点について、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 大豆ミートなどの代替食品について考える。	・子どもから大人まで世界中で愛されるディック・ブルーナの作品と、人物について知る。 ・現在進行形、過去進行形を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	21
2 学 期	単元:Capsule Toys 【知識及び技能】 助動詞を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 カプセルトイの起源について知り、その魅力について、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 身近なカプセルトイについて、その魅力を改めて考える。	・街のいたるところにある人気のカプセルトイについて、その由来や現状を知り、その魅力を考える。 ・助動詞を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	24
	単元:Pictograms 【知識及び技能】 動名詞を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 オリンピック競技などにみられるピクトグラムについて、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 国際社会におけるピクトグラムの役割を知る。	・絵で意味を伝える「ピクトグラム」について、身近にあるコミュニケーションの手段として考える。 ・動名詞を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	24
3 学 期	単元:We are Part of Nature 【知識及び技能】 不定詞を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 動物写真家の岩合光昭さんの撮影の秘訣や自然への思いについて、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 世界で活躍する人物像を学ぶ。また、自然環境について考える。	・世界で活躍する岩合氏の、撮影の秘訣や自然への思いから、職業への意識と自然環境について考える。 ・不定詞を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	27
											合 計 117

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ 組  
 教科担当者： ( A組：水谷 ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )  
 使用教科書： ( VISTA English CommunicationⅠ )  
 教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の知識を深め、聞く・読む・話す・書く技能を実践的に活用できるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】目的や場面に応じて、外国語で情報や考えを理解し、適切に表現・伝達する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】文化を理解し、相手に配慮しながら主体的に外国語でコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基本的な語彙、文法、表現を理解し、簡単な会話や文章で適切に使える力を養う。聞く・話す・読む・書くの基礎的なスキルを高め、実際の状況で英語を使うための基本的な能力を育む。	自分の考えや意見を簡潔に伝え、他者の意図を理解する力を養う。簡単な情報交換や日常的な表現を通じて、英語で意思疎通を図る能力を高める。	英語を積極的に学び、自己表現を広げようとする意欲を持つ。異文化理解を深め、多様な価値観を尊重する姿勢を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	単元Machu Pichu 【知識及び技能】 現在完了形を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 世界遺産「マチュピチュ」の魅力と不思議について、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 歴史と自然について学び、人類の遺産を継承することについて考える。	・南米ペルーの「マチュピチュ」の歴史保護区を取り上げ、インカ帝国を築いた人々が展開した文明の一端を知る。 ・現在完了形を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	21
	単元Artificial Intelligence 【知識及び技能】 受け身を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 AIにできることとできないことについて、現在の技術から、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力、人間性等】 人とAIが共存する未来を考える。	・技術革新が進む新しい時代を生きる生徒たちに、人間とAIが共存する未来を考えさせる。 ・受け身を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	21
2 学 期	単元Is There a Santa Claus? 【知識及び技能】 関係代名詞を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 「サンタクロースは本当にいるのか」という子どもからの質問について、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力】 世界に広がるクリスマス文化を学び、それにまつわる人々の思いを感じ取る。	・世界に広がるクリスマス文化について学びながら、子どもの素直さとそれにこたえようとする大人の思いを感じ取る。 ・関係代名詞を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	24	
	単元Kids' Guernica 【知識及び技能】 名詞を修飾する分詞、関係副詞を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 ピカソの絵画『ゲルニカ』と「キッズゲルニカ」プロジェクトについて、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力】 芸術を通じて平和を祈る活動への理解を深める。	・芸術を通じて平和を祈り、人々の絆を結ぶプロジェクトのことを知り、平和について考える。 ・名詞を修飾する分詞、関係副詞を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	24
3 学 期	単元Ethical Fashion 【知識及び技能】 比較を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 エシカルファッションとエシカルな考え方について、理解して考えを深めることができる。  【学びに向かう力】 世界中の人の暮らしの向上について考える。また、SDGsについて学ぶ。	・ファッションという身近なテーマをきっかけに、SDGsと関連付けて、未来の社会のために「エシカル」な選択をすることを学ぶ。 ・比較を理解する。	○	○	○	○	○	○	○	27	
											合 計 117





高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 A組～組  
 教科担当者：（A組：鈴木 悠矢）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）  
 使用教科書：（改訂版 科学と人間生活（数研出版））  
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】重要事項について正しく説明でき、観察・実験を安全に行うことができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験の結果を考察することができ、レポートで自分の意見・思考を表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に興味、関心を持ち、毎時の授業に前向きに取り組むことができる。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・各単元の重要語句、事項について、正しく説明できる。 ・各単元の観察・実験において、器具を正しく用いることができる。	・自然や科学技術について、人間生活と関連付けて科学的に考察し表現することができる。 ・観察・実験後におけるレポートに自らの意見・思考を表現することができる。	・身近な事物・現象に興味、関心を持ち、学ぼうとする姿勢がみられる ・授業中の観察・実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:材料とその再利用 【知識及び技能】 ・原子の構造と電子配置、イオンの名称、イオンの生成、粒子間の結合について理解する。 ・金属の性質を理解し、その性質に基づいた再利用方法について理解する。 ・プラスチックの性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・金属の性質に基づいた、腐食の防止やリサイクルまでの総合的な学びを生活者の観点で考えることができる。 ・プラスチックの性質について、燃焼の違いや化学的構造の差異を、観察・実験を通して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・物質の構成粒子 ・粒子の結合 ・金属とその利用 ・金属の精錬 ・金属のさびとその防止 ・プラスチックとその性質 ・プラスチックの性質と燃焼 ・さまざまなプラスチック ・資源の再利用	単元:材料とその再利用 【知識及び技能】 ・原子の構造と電子配置、イオンの名称、イオンの生成、粒子間の結合について理解している。 ・金属の性質を理解し、その性質に基づいた再利用方法について理解している。 ・プラスチックの性質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・金属の性質に基づいた、腐食の防止やリサイクルまでの総合的な学びを生活者の観点で考えている。 ・プラスチックの性質について、燃焼の違いや化学的構造の差異を、観察・実験を通して考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組もうとしている。	○	○	○	12
	単元:ヒトの生命現象 【知識及び技能】 ・タンパク質の設計図である遺伝子とタンパク質の働きについて理解する。 ・ホルモンによって血糖濃度が調節されていることを理解する。 ・抗体による免疫のしくみを理解する。 ・視覚器の構造、視覚器がとられた光情報の流れ、視覚の発生について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・糖尿病を、インスリンのはたらきと関係づけて説明することができる。 ・アレルギーやワクチンについて、免疫のしくみと関係づけて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。	・遺伝情報とDNA ・生命活動を支えるタンパク質 ・血糖濃度の調節と健康 ・免疫とからだの防御 ・免疫と健康 ・眼の構造とはたらき ・光の情報と生命活動	【知識及び技能】 ・タンパク質の設計図である遺伝子とタンパク質の働きについて理解している。 ・ホルモンによって血糖濃度が調節されていることを理解している。 ・抗体による免疫のしくみを理解している。 ・視覚器の構造、視覚器がとられた光情報の流れ、視覚の発生について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・糖尿病を、インスリンのはたらきと関係づけて説明している。 ・アレルギーやワクチンについて、免疫のしくみと関係づけて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味、関心を自発的に持って取り組もうとしている。	○	○	○	13



高等学校 令和8年度（2学年用）教科 理科 科目 生物基礎

教科 理科

科目 生物基礎

単位数 3 単位

対象学年組 第2学年 A組～組

教科担当者 (A組:鈴木 悠矢) (組: ) (組: ) (組: ) (組: ) (組: )

使用教科書 (高校 生物基礎 visual (実教出版) )

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】重要事項について正しく説明でき、観察・実験を安全に行うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験の結果を考察することができ、レポートで自分の意見・思考を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に興味、関心を持ち、毎時の授業に前向きに取り組むことができる。

科目 生物基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・各単元の重要語句について、正しく説明できる。 ・各単元の実験において、器具を正しく用いることができる。	・各単元において、共通性、多様性という観点で分析、考察することができる。 ・観察・実験後におけるレポートに自らの意見・思考を表現することができる。	・身近な生物、生物でみられる事象に興味、関心を持ち、学ぼうとする姿勢がみられる。 ・授業中の観察・実験において興味、関心を自発的に持って最後まで取り組むことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元:生物の特徴</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物は共通性を保ちながら進化して多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解する。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだす。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性</li> <li>生物のエネルギー</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物は共通性を保ちながら進化して多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解している。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだしている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味、関心を自発的に持って取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	18
<p>単元:遺伝情報とその働き</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造と、塩基配列の相補性について理解する。</li> <li>体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれていることを理解する。</li> <li>DNAの構造と、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解する。</li> <li>DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの複製を塩基配列と関係づけて説明することができる。</li> <li>DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報とDNA</li> <li>遺伝情報とタンパク質の合成</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造と、塩基配列の相補性について理解している。</li> <li>体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれていることを理解している。</li> <li>DNAの構造と、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。</li> <li>DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの複製を塩基配列と関係づけて説明している。</li> <li>DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味、関心を自発的に持って取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	21
<p>単元:体内環境</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境が一定の範囲で保たれていることを理解する。</li> <li>体液の成分、血液循環、血液凝固について理解する。</li> <li>腎臓と肝臓のはたらきについて理解する。</li> <li>神経とホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解する。</li> <li>ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれていること、ホルモンの分泌不足による疾患を理解する。</li> <li>免疫のしくみと、免疫の医療への応用、ヒトの免疫疾患について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>腎臓の働きについて、ろ過や再吸収のしくみを説明することができる。</li> <li>観察・実験を通して、体内での情報伝達が体の調節に関係していることを見いだす。</li> <li>血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明することができる。</li> <li>ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境</li> <li>体内環境の維持のしくみ</li> <li>免疫</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境が一定の範囲で保たれていることを理解している。</li> <li>体液の成分、血液循環、血液凝固について理解している。</li> <li>腎臓と肝臓のはたらきについて理解している。</li> <li>神経とホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。</li> <li>ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれていること、ホルモンの分泌不足による疾患を理解している。</li> <li>免疫のしくみと、免疫の医療への応用、ヒトの免疫疾患について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>腎臓の働きについて、ろ過や再吸収のしくみを説明している。</li> <li>観察・実験を通して、体内での情報伝達が体の調節に関係していることを見いだしている。</li> <li>血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明している。</li> <li>ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味、関心を自発的に持って取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	35
<p>単元:生物の多様性と生態系</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上には、多くの植生がみられ、植物を取り巻く環境や構成種により植生が変わっていることを理解する。</li> <li>植生の遷移の過程を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むか説明することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系とその成り立ち</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上には、多くの植生がみられ、植物を取り巻く環境や構成種により植生が変わっていることを理解している。</li> <li>植生の遷移の過程を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むか説明している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味、関心を自発的に持って取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	12

3 学 期	<p>単元:生物の多様性と生態系</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解する。</li> <li>・生態系内における種多様性、生物どうしの関わり合いについて理解する。</li> <li>・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温と降水量によって成立するバイオームが、構成する植物種がその場所に適応しているためだと考察することができる。</li> <li>・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味、関心を自発的に持って取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生とバイオーム</li> <li>・生態系と生物の多様性</li> <li>・生態系のバランスと保全</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。</li> <li>・生態系内における種多様性、生物どうしの関わり合いについて理解している。</li> <li>・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温と降水量によって成立するバイオームが、構成する植物種がその場所に適応しているためだと考察している。</li> <li>・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味、関心を自発的に持って取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	31
							合計
							117

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：鈴木 悠矢）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（高校 化学基礎 visual（実教出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】重要事項について正しく説明でき、実験を安全に行うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験の結果を考察することができ、レポートで自分の意見・思考を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に興味、関心を持ち、毎時の授業に前向きに取り組むことができる。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元:物質の探究 【知識及び技能】 ・物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの観察・実験を行い、科学的に探究する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。	1章 物質の構成 1節 物質の探究	【知識及び技能】 ・物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの観察・実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につけている。	○	○	○	10
	単元:物質の構成粒子 【知識及び技能】 ・物質の構成粒子について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の構成についての観察・実験を行い、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の構成などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。	1章 物質の構成 2節 物質の構成粒子	【知識及び技能】 ・物質の構成粒子について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の構成についての観察・実験を行い、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の構成などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につけている。	○	○	○	14
	単元:イオン結合 【知識及び技能】 ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イオンやイオン結合の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・イオンやイオン結合などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合	【知識・技能】 ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・イオンやイオン結合の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオンやイオン結合などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	8
	単元:共有結合 【知識及び技能】 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付ける。 ・分子からなる物質の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・分子からなる物質の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・共有結合や分子からなる物質などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。	2章 物質と化学結合 2節 共有結合	【知識・技能】 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。 ・分子からなる物質の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 分子からなる物質の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 共有結合や分子からなる物質などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	10



年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科 理科 科目 物理基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組～ 組

教科担当者：（A組：鈴木 悠矢）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（高校 物理基礎 新訂版（実教出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】重要事項について正しく説明でき、実験を安全に行うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】実験の結果を考察することができ、レポートで自分の意見・思考を表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に興味、関心を持ち、毎時の授業に前向きに取り組むことができる。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動とさまざまなエネルギーについて、基本的な概念や原理、法則を理解し、知識を身に付けるとともに、物体の運動とさまざまなエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	物体の運動とさまざまなエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とさまざまなエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
	<p>単元：運動の表し方</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相対速度を理解する。</li> <li>・合成速度を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速度を実験器具を使って測定しながら運動を解析し、量的な関係をとらえることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を通じて、斜面を滑り降りる台車の加速度を調べようとする。</li> </ul>	<p>1章 物体の運動</p> <p>1節 運動の表し方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 速さとその表し方</li> <li>2 等速直線運動</li> <li>3 速さと速度・変位</li> <li>4 速度の合成と相対速度</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相対速度を求めることができる。</li> <li>・合成速度を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速度を実験器具を使って測定しながら運動を解析し、量的な関係をとらえることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習中に分からなかったことや新たに疑問に思ったことを表現している。</li> <li>・実験を通じて、斜面を滑り降りる台車の加速度を調べようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
	<p>単元：運動の表し方</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度を求めることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由落下運動など、重力による物体の運動について、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変位や速度、加速度といった、運動の基礎となる量を理解し、それらを組み合わせて運動を物理的に理解できる。</li> <li>・加速度を実験器具を使って測定しながら運動を解析し、量的な関係をとらえることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を通じて、斜面をくだる台車の運動を調べようとする。</li> </ul>	<p>1章 物体の運動</p> <p>1節 運動の表し方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 加速度</li> <li>6 等加速度直線運動</li> <li>7 自由落下運動・鉛直投げ下ろし運動</li> <li>8 鉛直投げ上げ運動・水平投射運動</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。</li> <li>・自由落下運動など、重力による物体の運動について、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変位や速度、加速度といった、運動の基礎となる量を理解し、それらを組み合わせて運動を物理的に理解できている。</li> <li>・加速度を実験器具を使って測定しながら運動を解析し、量的な関係をとらえることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を通じて、斜面をくだる台車の運動を調べようとしている。</li> </ul>	○	○	○	7
	<p>単元：力と運動の法則</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フックの法則を用いて、ばねの変位と弾性力の大きさをそれぞれ求めることができる。</li> <li>・つりあいの関係にある力と作用反作用の関係にある力を判別できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体が受ける力を「AがBから受ける力」と説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力の性質をもとに、力がつりあうのはどのようなときか調べようとする。</li> </ul>	<p>1章 物体の運動</p> <p>2節 力と運動の法則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 力</li> <li>2 力の合成・分解</li> <li>3 力のつりあい</li> <li>4 作用反作用</li> <li>5 慣性の法則</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フックの法則を用いて、ばねの変位と弾性力の大きさをそれぞれ求めることができる。</li> <li>・つりあいの関係にある力と作用反作用の関係にある力を判別できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体が受ける力を「AがBから受ける力」と説明できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力の性質をもとに、力がつりあうのはどのようなときか調べようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
	<p>単元：力と運動の法則</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力と加速度の関係、質量と加速度の関係から、運動方程式を導くことができる。</li> <li>・運動の原因となる力をさぐる過程を通して運動の法則を理解し、さらに未知の運動を解くことができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・v-tグラフを調べることで、運動を正しく表現できる。</li> <li>・運動の法則に基づき、さまざまな運動の規則性を見つげることができる。</li> <li>・運動の法則に基づき、さまざまな運動を理解し、物体の位置や速度を予測できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を通じて、力と加速度、質量と加速度の関係を調べようとする。</li> </ul>	<p>1章 物体の運動</p> <p>2節 力と運動の法則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 運動の法則(力と加速度の関係)</li> <li>7 運動の法則(質量と加速度の関係)</li> <li>8 運動方程式</li> <li>9 摩擦力</li> <li>10 圧力と浮力</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力と加速度の関係、質量と加速度の関係から、運動方程式を導くことができる。</li> <li>・運動の原因となる力をさぐる過程を通して運動の法則を理解し、さらに未知の運動を解くことができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・v-tグラフを調べることで、運動を正しく表現できている。</li> <li>・運動の法則に基づき、さまざまな運動の規則性を見つげることができる。</li> <li>・運動の法則に基づき、さまざまな運動を理解し、物体の位置や速度を予測できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を通じて、力と加速度、質量と加速度の関係を調べようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

公民科 科目 公共

教科：公民科

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ B組

教科担当者：(A組：向井将之) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )

使用教科書：(高等学校 新公共 第一学習社 )

教科 公民科

の目標：

【知識及び技能】政治・経済・倫理などに関わる現代社会の諸課題、その解決のための必要な概念や理論について理解するとともに、様々な諸課題を解決するための選択・判断の手掛かりにできる程度まで身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現代社会における様々な諸課題について、事実や諸資料をもとに多面的・多角的に考察し、解決に向け客観的、論理的に思考、判断し、社会の一員としての意見をわかりやすく表明する。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を、多面的・多角的な考察や深い理解を通して主体的に解決しようとする態度や主権者である国民として、個人の尊厳及び平和の実現のために、協力し合う姿勢や自覚をもつ。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・様々な資料を読み、解釈し、現代社会の諸課題について、教科書を活用しながら、様々な情報源から得られる知識を踏まえて考察できるレベルまで身につける。</p> <p>・現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための基礎となる概念や理論について理解し、それを活用できるレベルまで身につける。</p>	<p>・現代社会の諸課題の解決に向けて、事実、資料を本に多角的に考察し、自分の問題として考え意見をまとめ、討論する。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の基礎となる考え方や社会にある原理・原則・法則などを活用して、考え、自分の言葉で、意見を述べるができる。</p>	<p>・不確実な時代背景を踏まえて、次の社会を予測し、次の社会をよりよくする姿勢をもって、国家社会の一員として、主体的に考え解決しようとしている。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元:公共的な空間を作る私たち</p> <p>・公共的な空間と私たちについて考えるのに必要な概念や理論について理解させる。</p> <p>・公共的な空間と私たちについて考えるのに必要な概念や理論をもとに課題を考え、解決策を導き出し、自分の言葉で表現させる。</p> <p>・公共的な空間と私たちについて自らの問題として考え、解決策を主体的に引き出させる。</p>	<p>第1編 公共の扉</p> <p>第1章 公共的な空間を作る私たち</p> <p>1 公共的な空間と人間とのかかわり</p> <p>1 社会に生きる私たち</p> <p>2 個人の尊厳と自主・自律</p> <p>3 多様性と共通性</p> <p>4 伝統文化とのかかわり</p> <p>5 自立した主体をめざして</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・自分自身が自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成と共に、よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元:公共的な空間における人間としての在り方生き方</p> <p>・公共的な空間における人間としての生き方あり方についての環境、倫理等の概念や理論について理解させる。</p> <p>・公共的な空間における人間としての生き方あり方についての環境、倫理等の概念や理論をもとに課題を考え、解決策を導き出し、自らの言葉で表現させる。</p> <p>・公共的な空間における人間としての生き方あり方について、環境、倫理等を主題として、積極的に取り組み、主体的に解決策を引き出させる。</p>	<p>第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方</p> <p>1 人間と社会の在り方についての見方・考え方</p> <p>・実社会の事例から考える～環境保護</p> <p>・実社会の事例から考える～生命倫理</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・幸福・正義・構成などに着目して考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に人間としての在り方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		
<p>単元:公共的な空間における基本原理</p> <p>・個人の尊厳や近代憲法思想法理等を題材として、その概念や理論について理解させる。</p> <p>・個人尊厳や近代憲法思想や法理等を題材として得た知識等を基礎にして、課題を考え、解決策を導き出し、自らの言葉で表現させる。</p> <p>・個人の尊厳や近代憲法思想や法理等について、積極的に取り組み、主体的に解決策を引き出させる。</p>	<p>第3章 公共的な空間における基本原理</p> <p>①人間の尊厳と平等、個人の尊厳</p> <p>②民主政治と法の支配</p> <p>③自由・権利と責任・義務</p> <p>④日本国憲法に生きる基本原理</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・公共的な空間における基本原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・公共的な空間にける基本原理と日本国憲法の基本原理を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元:自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち</p> <p>・公法・私法などの法規則についての概念や理論について理解させる。</p> <p>・公法・私法などの法規則についての概念や理論について得た知識等を基礎にして、課題を考え、解決策を導き出し、自らの言葉で表現させる。</p> <p>・公法・私法などの法規則についての概念を理解したり、課題解決に積極的に取り組み、主体的に解決させる。</p>	<p>第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち</p> <p>第1章 法的な主体となる私たち</p> <p>主題1 法と規範の意義と役割</p> <p>①私たちと法</p> <p>②法と基本的人権</p> <p>③自由に生きる権利と法・規範</p> <p>④平等と法と規範</p> <p>⑤安全に生きる権利と法・規範</p> <p>⑥法をより良いものにするための権利</p> <p>主題2 契約と消費者の権利・責任</p> <p>①さまざまな契約と法</p> <p>②消費者の権利と責任</p> <p>主題3 司法参加の意義</p> <p>①裁判所と司法</p> <p>②国民の司法参加</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・基本的人権が保障されるように至った経緯を現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論述をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・法と規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		

2 学 期	<p>単元:政治的な主体となる私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治参加と公正な世論について課題を理解し、考えるための基礎となる概念や理論を理解している。また、国際社会と日本の在り方について、国際法の視点、平和主義の視点、現在の国際社会の問題という視点から理解し、課題を解決するのに必要な概念や理論を理解させる。</li> <li>・政治参加と公正な世論について身につけた理論や概念を基礎として、課題を考え、解決し、自らの言葉で表現させる。</li> <li>・国際社会と日本の在り方について、国際法の視点、平和主義の視点、現在の国際社会の問題という視点から、課題を考え、解決しようと積極的、主体的に取り組ませる。</li> </ul>	<p>第2章 政治的な主体となる私たち</p> <p>主題4 政治参加と公正な世論の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①私たちと選挙</li> <li>②選挙の現状と課題</li> <li>③世論の形成と政治参加</li> <li>④国会と立法</li> <li>⑤内閣と行政</li> <li>⑥地方自治と住民福祉</li> </ol> <p>主題5 国際社会と国家主権</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①国家と国際法</li> <li>②国境と領土問題</li> <li>③国際連合の役割と課題</li> </ol> <p>主題6 日本の安全補保障</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①平和主義と安全保障</li> <li>②核兵器の廃絶と国際平和</li> </ol> <p>主題7 国際社会の変化と日本の役割</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①今日の国際社会</li> <li>②人種・民族問題と地域紛争</li> <li>③国際社会における日本の役割</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> <li>・国際社会と国家主権に関わる現自治社会の事柄や課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の平和主義を踏まえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的、多角的に考察し、表現している。</li> <li>・変化する国際情勢の中で、日本に安全が世界の平和の維持と以下に関連しているか、広い視点に立って理解し、様々な観点から考察している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際平和の実現について、自分自身の問題として理解し、解決するための具体的な行動をとっている。</li> <li>・政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		
2 学 期	<p>単元:経済的な主体となる私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な主体となる自らについて、雇用、職業観、市場経済、金融、財政、国際経済といった各視点についての課題を理解し、考えるための基礎となる概念や理論を理解させる。</li> <li>・経済的な主体となる自らについて、雇用、職業観、市場経済、金融、財政、国際経済といった各視点について身につけた理論や概念を基礎として、課題を考え、解決し、自らの言葉で表現させる。</li> <li>・経済的な主体となる自らについて、雇用、職業観、市場経済、金融、財政、国際経済といった各視点について、課題を考え、解決しようと積極的、主体的に取り組ませる。</li> </ul>	<p>第3章 経済的な主体となる私たち</p> <p>主題8 雇用と労働問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①私たちと経済</li> <li>②労働者と権利</li> <li>③労働環境と課題</li> </ol> <p>主題9 社会の変化と職業観</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①日本経済のこれまでとこれから</li> <li>②技術革新の進展</li> <li>③現代の企業</li> <li>④中小企業の現状と役割</li> <li>⑤日本の農林水産業</li> </ol> <p>主題10 市場経済の機能と限界</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市場経済と経済運営</li> <li>②市場のしくみ</li> <li>③経済発展と環境保全</li> <li>④国民所得と私たちの生活</li> <li>⑤経済成長と国民の福祉</li> </ol> <p>主題11 金融の働き</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①金融の意義と役割</li> <li>②金融のいま</li> </ol> <p>主題12 財政の役割と社会保障</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①財政の仕組みと租税</li> <li>②日本の財政の課題</li> <li>③社会保障と国民福祉</li> <li>④これからの社会保障</li> </ol> <p>主題13 経済のグローバル化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①国際分業と貿易</li> <li>②国際収支と国際経済体制</li> <li>③外国為替相場の動き</li> <li>④グローバル化する経済</li> <li>⑤地域的経済統合</li> <li>⑥国際社会における貧困や格差</li> <li>⑦地球環境問題</li> <li>⑧資源・エネルギー問題</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業・家計・政府の3つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。</li> <li>・企業の働きと社会的責任について、理解している。</li> <li>・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協議し考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。</li> <li>・財政の意義、日本の財政の課題を理解し、財政の仕組み、租税の意義と課題について、具体的に事例を挙げて考察、構想し、主体的に考えている。</li> <li>・起用と労働問題について、日本の雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察し、構想し、論拠をもって表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> <li>・金融の働きについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		
3 学 期	<p>単元:持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会づくりの主体となる自らについて、地球環境、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの各視点についての課題を理解し、考えるための基礎となる概念や理論を理解させる。</li> <li>・持続可能な社会づくりの主体となる自らについて、地球環境、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの各視点について身につけた理論や概念を基礎として、課題を考え、解決し、自らの言葉で表現させる。</li> <li>・持続可能な社会づくりの主体となる自らについて、地球環境、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの各視点について、課題を考え、解決しようと積極的、主体的に取り組ませる。</li> </ul>	<p>第3篇 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①排出量取引を考える～地球環境問題</li> <li>②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題</li> <li>③ゲノム編集を考える～生命倫理</li> <li>④インターネットによる投票を考える～情報</li> <li>⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向けて事実をもとに協議して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性など指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩大の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		
合計							
78							

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

地理歴史科 科目 地理総合

教科： 地理歴史科

科目： 地理総合

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者： (A組： 向井将之) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： ) ( 組： )

使用教科書： ( 地理総合 (東京書籍) 、新詳高等地図 (帝国書院) )

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本人としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本人としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界</p> <p>第1章 私たちが暮らす世界</p> <p>【知識及び技能】世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付け、また、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択する力を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究しようとする力を身に付けさせる。</p>	<p>1 緯度・経度</p> <p>【24時間、地球は眠らない。】</p> <p>2 地球儀と世界地図</p> <p>【丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。】</p> <p>3 日本の位置と領域</p> <p>【小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ?】</p>	<p>【知識・技能】・世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>第1編第2章 地図や地理情報システムの役割</p> <p>【知識・技能】地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理し、さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえる力を身に付けさせる。</p>	<p>4 地図の種類</p> <p>【地図を使わない人は、ほとんどいない。】</p> <p>5 地形図のルール</p> <p>【地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。】</p> <p>6 主題図の種類と読み取り</p> <p>【このテーマ、どんな地図で表すべきか。】</p> <p>7 地理情報システムと地図</p> <p>【地図の可能性は、まだまだ広がる。】</p>	<p>【知識・技能】・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。・さまざまな統計数値を、適切な主題図で表現している。・GISを操作し、計測結果や主題図を表示している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○		
<p>第1編第3章 資料から読み取る現代世界</p> <p>【知識及び技能】交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けさせる。また、モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする力を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】交通・通信技術が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究する意欲を身に付けさせる。</p>	<p>8 交通の発達</p> <p>【地球は、どんどん小さくなっている?】</p> <p>9 情報通信の発達</p> <p>【世界中が、ネットにつながりはしたけれど、】</p> <p>10 国境をこえる人々の移動</p> <p>【仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。】</p> <p>11 拡大する貿易</p> <p>【国どうしの貿易は、どう変化しているのか?】</p> <p>12 つながる世界、多極化する世界</p> <p>【国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう?】</p>	<p>【知識・技能】・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえたモノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】・交通・通信技術が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>第2編第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境</p> <p>【知識及び技能】世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付け、また、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取る力を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究させる。</p>	<p>(1節 生活文化の多様性と国際理解)</p> <p>13 文化の地域性と多様性</p> <p>【肉じゃがといえは?「牛肉だ!」「豚肉だ!」】</p> <p>(2節 生活文化と自然環境①地形)</p> <p>14 山地の暮らし</p> <p>【山に住むには、どんな工夫が必要なのか。】</p> <p>15 平野の暮らし</p> <p>【流れる川が、地形を変えていく。】</p> <p>16 海岸の暮らし</p> <p>【さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。】</p> <p>(3節 生活文化と自然環境②気候)</p>	<p>【知識・技能】・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	11
<p>定期考査</p>			○	○		

	<p>17 多様な気候とその分布 【なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。】 18 熱帯の人々の暮らし 【強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は？】 19 乾燥帯の人々の暮らし 【雨が少ない！どうやって水を得る？】 20 温帯の人々の暮らし 【クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。】 21 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 【長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは。】 22 食生活と農業の分布 【人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか。】 23 工場立地の変化 【工場は、どんな理由でどんな場所に建つか。】 24 商業立地と人々の生活 【売り方も、買い方も、社会とともに変化する。】 25 情報産業の発達と生活文化の変化 【ものづくりも働き方も、ICTが変えていく。】</p>						19	
定期考査								
2学期	<p>第2編第2章さまざまな地球の課題と国際協力 【知識及び技能】さまざまな要因がからむ地球の課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。また、諸資料を収集・選択して、読み取る力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】地球の課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球の課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究する意欲をもたせる。</p>	<p>(1節 地球環境問題) 27 地球環境問題(1) 【大気と海に、何が起きているのだろうか。】 28 地球環境問題(2) 【森林減少と砂漠化、その原因を探る。】 29 資源・エネルギー問題 (2節 食料問題) 【誰もが、欲しがらる。だから、取り合いに。】 30 化石燃料から再生可能エネルギーへ 【地球を、「電池切れ」にさせないために。】 (3節 人口問題) 31 発展途上国の人口問題 【人が増えたのはなぜ？何が問題なのだろうか。】 32 先進国の人口問題 【若者が減り、高齢者が増えたらどうなる？】 (4節 食料問題) 33 食料供給をめぐる問題 【増産しても、まだ足りない。なぜだろう。】 (5節 居住・都市問題) 34 発展途上国の居住・都市問題 【人は、何を求めて都市に向かうのか。】 35 先進国の居住・都市問題 【なぜ、再開発が必要なのか。】 (6節 民族問題) 36 民族問題・難民問題 【くり返す対立で、国を追われる人々がいる。】 (7節 持続可能な社会の実現をめざして) 37 地球の課題と国際協力 【グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。】</p>	<p>【知識・技能】さまざまな要因がからむ地球の課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。また、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思考・判断・表現】地球の課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球の課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>					22
	<p>第3編第1章自然環境と防災 【知識及び技能】変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付け、また、諸資料から有用な情報を選択する力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究する姿勢を身に付けさせる。</p>	<p>(1節 日本の自然環境の特色) 38 日本の地形の特色 【火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。】 39 日本の気候の特色 【四季ある国の、季節ごとの天候は？】</p>	<p>【知識・技能】・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【思考・判断・表現】・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>					5
定期考査								

3 学 期		(2節 さまざまな自然災害と防災) 40 地震災害・津波災害(1) 【地震が発生するメカニズムとは。】 41 地震災害・津波災害(2) 【くり返す地震を、災害史から学ぶ。】 42 火山の災害とめぐみ 【火山をよく知り、共存していくために。】 43 気象災害(1) 寒さ・暑さと台風 【雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす?】 44 気象災害(2) 大雨と洪水・土砂災害 【大雨で、あふれる水。何が起ころのだろう。】 45 都市と自然災害 【都市を襲う災害、危険はどこにある?】 46 防災・減災と復旧・復興 【地域を災害から守るため いま、できることは?】		○	○	○	14
	第3編第2章生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】地域調査の手順や注意すべきことを理解し、また、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめる力を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。	47 調査テーマの設定 【学校のまわりの、地理的テーマを探せ!】 48 地域調査1(資料調査) 【「○○かな?」まずは仮説を立ててスタート。】 49 地域調査2(野外調査) 【どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。】 50 まとめと発表 【地域のこれからは、皆で考えていくために。】	【知識・技能】・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめている。 【思考・判断・表現】・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		
							合計 117

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度

教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科: 地理歴史科 科目: 歴史総合

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組～ 組

教科担当者: (A組: 向井将之) (組: ) (組: ) (組: ) (組: ) (組: )

使用教科書: ( 新選歴史総合 (東京書籍) )

教科 地理歴史科 の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本人としての自覚が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 歴史の扉 「歴史と私たち」 【知識・技能】 諸資料の活用のかたを理解し、また、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解させる。 【思考・判断・表現】 資料から、その時代の社会を推測し、現代の諸問題との関連について表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と歴史の関連性に対し興味・関心を喚起する。	1節「歴史と私たち」 2節「歴史の特質と資料」	【知識・技能】私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考・判断・表現】近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】・科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	4
第2章 近代化と私たち 「近代化への問い」 【知識・技能】 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を読み取り、事実を理解させる。 【思考・判断・表現】 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに対して関心をもたせる。	1節「近代化への問い」 2節「結び付く世界と日本の開国」 ①18世紀の東アジア ②結び付くアジア諸地域 ③18世紀のヨーロッパとアジア ④市民革命と近代社会 ⑤産業革命のはじまり ⑥世界市場の形成 ⑦自由主義とナショナリズム	【知識・技能】近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 【思考・判断・表現】近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		
	3節「国民国家と明治維新」 ⑧東アジア国際関係の変化と日本の開国 ⑨アジアの諸国家とその変容 ⑩明治維新と東アジアの国際関係 ⑪立憲制の広まり ⑫世界経済の変化と日本の産業革命 ⑬帝国主義と植民地 ⑭日清戦争と華夷秩序の解体 ⑮帝国主義諸国の競合と国際関係 ⑯植民地支配と植民地の近代 ⑰20世紀はじめの世界	【知識・技能】近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 【思考・判断・表現】近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	20
	4節「近代化と現代的な諸課題」					
第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現させる。 【知識・技能】 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を読み取り、事実を理解させる。 【思考・判断・表現】 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現させる。	1節「国際秩序の変化や大衆化への問い」	【知識・技能】・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 【思考・判断・表現】・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	3
定期考査			○	○		

2 学期	2節「第一次世界大戦と大衆社会」 ⑧第一次世界大戦の展開 ⑨国際協調体制の形成 ⑩ソヴィエト連邦の成立 ⑪アメリカ合衆国の台頭 ⑫アジアの経済成長と移動する人々 ⑬反植民主義の高揚と国際秩序の変容 ⑭民主主義の拡大と社会変革の動き ⑮大衆化を支えるテクノロジー	【知識・技能】①第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 ②大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 【思考・判断・表現】①第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査		○	○		
	3節「経済危機と第二次世界大戦」 ⑯世界恐慌 ⑰アジア・アフリカと大衆社会 ⑱国際協調体制の崩壊 ⑲日中戦争と深刻化する世界の危機 ⑳第二次世界大戦の展開 ㉑連合国の戦後構想 ㉒アジア太平洋戦争と日本の敗戦 ㉓連合国の占領政策 ㉔再編されるアジアと冷戦 4節「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」	【知識・技能】①世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、国際協調体制の動揺を理解している。 ②第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思考・判断・表現】①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ②第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	19
定期考査		○	○			

3 学 期	第4章グローバル化と私たち	1節「グローバル化への問い」 2節「冷戦と世界経済」 ⑤冷戦の拡大と第三勢力 ⑥キューバ危機と核兵器の管理 ⑦脱植民地化の進展と地域紛争 ⑧計画経済と開発 ⑨冷戦下の日本とアジア ⑩日本と欧米先進国の経済成長 ⑪地域連携の拡大 ⑫ベトナム戦争と冷戦構造の変容 3節「世界秩序の変容と日本」 ⑬問い直される近代 ⑭石油危機と経済の自由化 ⑮アジアの経済発展と日本 ⑯冷戦の終結と世界 ⑰拡散する地域紛争 ⑱民主化の進展 ⑲グローバル化と地域統合 ⑳岐路に立つ世界と日本	【知識・技能】・グローバル化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 【思考・判断・表現】・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・グローバル化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	32
		4節「現代的な諸課題の形成と展望」	【知識・技能】・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思考・判断・表現】・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		
							合計 117



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科： 保健体育 科目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組

教科担当者： 松岡

使用教科書： （ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>1 学期</b> <b>単元:現代社会と健康</b> <b>【知識及び技能】</b> ①疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などの主体要因と保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響しあいながら健康の成立にかかわっていることについて理解できるようにする。 ②生活習慣病を予防するには、適切な運動、睡眠、食事、休養及び睡眠などバランスの取れた健康的な生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。がんについては、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①国民の健康課題について触れながら、自身の健康状態を発見している。生活の質や生きがいを重視する健康の考え方をもち、自身の健康とは何かを説明している。 ②生活習慣を見直し、自身の生活で足りない所の改善点を発見している。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①自分にとっての健康状態は何かを様々な面から考えようとしている。 ②生活習慣の改善について、話し合いより健康な生活習慣へと高め合おうとしている。	① 健康の考え方と成り立ち ・健康についての多様な考え方 ・健康の成り立ちとその要因 私たちの健康のすがた ・わが国における健康水準の向上 ・わが国における健康問題の変化 ② 生活習慣病の予防と回復 ・生活習慣病とその種類 <b>がんの原因と予防</b> ・がんとその種類、がんの予防 がんの治療と回復 ・がんの治療と緩和ケア <b>がんとともに生きる社会づくり</b> <b>運動と健康</b> ・健康から見た運動の意義 ・健康により運動のしかた <b>食事と健康</b> ・健康的な食生活の意義 ・健康により食事のとり方 休養・睡眠と健康 ・健康からみた休養の意義 ・健康からみた睡眠の意義	<b>【知識及び技能】</b> ①疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などの主体要因と保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響しあいながら健康の成立にかかわっていることについて理解している。 ②生活習慣病を予防するには、適切な運動、睡眠、食事、休養及び睡眠などバランスの取れた健康的な生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。がんについては、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解している。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ①国民の健康課題について触れながら、自身の健康状態を発見している。生活の質や生きがいを重視する健康の考え方をもち、自身の健康とは何かを説明する。 ②生活習慣を見直し、自身の生活で足りない所の改善点を発見する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ①自分にとっての健康状態は何かを様々な面から考えている。 ②生活習慣の改善について、話し合いより健康な生活習慣へと高め合おうとしている。	○	○	○	14

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①喫煙、飲酒は生活習慣病などの要因となり心身の健康を損なうことを理解できるようにする。薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから決して行ってはならないことを理解する。</p> <p>②精神疾患の予防回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践することを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①喫煙、飲酒の害や誘われた時の断り方などを説明している。</p> <p>②精神疾患の予防と回復について不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①喫煙、飲酒、薬物乱用の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②精神疾患の予防と回復について、話し合い、主体的に学習に取り組もうとしている。</p>	<p>① 喫煙と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙の影響、喫煙への対策</li> </ul> <p>飲酒と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒の影響、飲酒への対策</li> </ul> <p>薬物乱用と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用への影響</li> <li>・薬物乱用の要因と対策</li> </ul> <p>② 精神疾患の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患の要因と種類</li> <li>・精神保健の今日的課題</li> </ul> <p>精神疾患の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における精神疾患の予防</li> <li>・精神疾患の早期発見・早期治療</li> </ul> <p>精神疾患からの回復</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による支援と治療</li> <li>・社会環境の整備</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①喫煙、飲酒は生活習慣病などの要因となり心身の健康を損なうことを理解できるようにする。薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから決して行ってはならないことを理解している。</p> <p>②精神疾患の予防回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践することを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①喫煙、飲酒の害や誘われた時の断り方などを説明する。</p> <p>②精神疾患の予防と回復について、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①喫煙、飲酒、薬物乱用の学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>②精神疾患の予防と回復について、話し合い、主体的に学習に取り組んでいる。</p>	○	○	○	16
3 学 期	<p>単元：安全な社会生活</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動心理などの人的要因、気象条件、車両、制度などの環境要因が関連していることを理解できるようにする。</p> <p>②適切な応急手当は、障害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。</p> <p>③心肺停止状態においては、AEDなどを用いて心肺蘇生ができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>①安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用すること。</p> <p>②応急手当について、悪化防止のための適切な方法に応用すること。</p> <p>③安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法を道筋立てて説明すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①自他の生命を尊重し、他人の意見を大切にしようとしている。</p> <p>②応急手当の方法について、実践を繰り返し行い、技能を高めようとしている。</p> <p>③心肺蘇生法の学習を主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>① 自己の現状と発生要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故とその被害</li> <li>・事故の発生に関連する要因</li> </ul> <p>自己の安全を確保する行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の安全を確保する行動</li> <li>・安全を確保する社会の取り組み</li> </ul> <p>交通における安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故防止のための取り組み</li> <li>・交通事故と運転者の責任</li> </ul> <p>② 応急手当とその基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急手当の意義、応急手当の手順</li> </ul> <p>日常的な応急手当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがに応じた応急手当</li> <li>・熱中症の応急手当</li> </ul> <p>③ 心肺蘇生法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法の意義と方法</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動心理などの人的要因、気象条件、車両、制度などの環境要因が関連していることを理解している。</p> <p>②適切な応急手当は、障害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解している。</p> <p>③心肺停止状態においては、AEDなどを用いて心肺蘇生ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>①安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。</p> <p>②応急手当について、悪化防止のための適切な方法に応用している。</p> <p>③安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法を道筋立てて説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。</p> <p>②応急手当について、悪化防止のための適切な方法に応用している。</p> <p>③安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法を道筋立てて説明している。</p>	○	○	○	9
合計							39

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：伊藤

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p><b>単元:生涯を通じる健康</b></p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。</p> <p>③疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①思春期と健康について、習得した知識を基に心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために性に関わる情報を適切に整理すること。</p> <p>②結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理すること。</p> <p>③加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①思春期を理解し、心と体について様々な面から考えようとしている。</p> <p>②性意識や妊娠について、話し合い結婚生活の考えを高め合おうとしている。</p> <p>③中高年期の学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>① ライフステージと健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージと死亡や病気</li> <li>・各ライフステージにおける健康課題</li> </ul> <p>思春期と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期と体と健康</li> <li>・思春期と心と健康</li> </ul> <p>② 性意識と性行動の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性意識とその尊重</li> </ul> <p><b>妊娠・出産と健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受精・妊娠・出産</li> <li>・母子保健サービスの活用</li> </ul> <p>避妊法と人工妊娠中絶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族計画の意義と避妊法</li> <li>・人工妊娠中絶</li> </ul> <p>結婚生活と健康</p> <p>結婚生活の基盤となる心身の発達</p> <p><b>結婚生活と家族の健康</b></p> <p>③ 中高年期と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢による変化と健康</li> <li>・高齢者の健康を支える取組</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解している。</p> <p>②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解している。</p> <p>③疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①思春期と健康について、習得した知識を基に心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために性に関わる情報を適切に整理している。</p> <p>②結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。</p> <p>③加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①思春期を理解し、心と体について様々な面から考えている。</p> <p>②性意識や妊娠について、話し合い結婚生活の考えを高め合っている。</p> <p>③中高年期の学習に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	14

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①働くこと労働生活について、話し合い、主体的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>単元：健康を支える環境づくり</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚濁などを引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>①人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、環境汚染の防止や改善の方法策に応用すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①環境問題を深く理解し、環境汚染の防止に向けて、意見を出し合い高め合おうとしている。</p>	<p>① <b>働くことと健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働くことと健康のかかわり</li> <li>働き方と健康問題の変化</li> <li>労働災害と健康</li> <li>労働災害とその要因</li> <li>労働災害の防止</li> <li>健康的な職業生活</li> <li>職場における取組</li> <li>仕事と生活の調和</li> </ul> <p>① <b>大気汚染と健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気汚染の原因と健康影響</li> <li>大気にかかわる地球規模の問題</li> <li>水質汚濁、土壌汚染と健康</li> <li>水質汚濁とその縁好影響</li> <li>土壌汚染とその健康影響</li> <li>大気汚染、水質汚濁、土壌汚染</li> <li>環境と健康にかかわる対策</li> <li>環境汚染の防止とその対策</li> <li>産業廃棄物の処理と健康</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①働くこと労働生活について、話し合い、主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚濁などを引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>①人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、環境汚染の防止や改善の方法策に応用している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①環境問題を深く理解し、環境汚染の防止に向けて、意見を出し合い高め合っている。</p>	○	○	○	16
3 学 期	<p>単元：健康を支える環境づくり</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理することは、人々の健康を守るために行われていることを理解できるようにする。</p> <p>②食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることを理解できるようにする。</p> <p>③健康の保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、保健・医療サービスなどを適切に活用することが大切であることを理解できるようにする。</p> <p>④我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>①個人及び社会生活と関連付けたりして、他や社会の課題を発見すること。</p> <p>②食品の安全性と食品衛生にかかわる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して計画を建てること。</p> <p>③地域の医療機関の活用の方について、生活の質の向上に向けた課題解決に応用すること。</p> <p>④健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して計画を建てること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②食品の安全について、自身の日常生活に適用して大切にしようとしている。</p> <p>③地域の医療機関を調べ、自身の健康・安全を確保しようとしている。</p> <p>④健康に感ずる環境づくりのために、自身で計画を立てて、その計画をもとに取り組もうとしている。</p>	<p>① <b>ごみの処理と上下水道の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの処理の現状</li> <li>安全で良質な水の確保</li> </ul> <p>② <b>食品の安全性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食品の安全性と健康</li> <li>食品の安全性に関する今日の課題</li> <li>食品衛生にかかわる活動</li> <li>食品の安全性の確保</li> <li>食品の安全と私たちの役割</li> </ul> <p>③ <b>保健サービスとその活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健行政の役割</li> <li>保健サービスの活用</li> <li>医療サービスとその活用</li> <li>医療の供給と医療保険</li> <li>医療機関と医療サービスの活用</li> </ul> <p>④ <b>さまざまな保健活動や社会的対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康を支える保健活動と社会的対策</li> <li>保健活動や社会的対策への住民の理解</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理することは、人々の健康を守るために行われていることを理解している。</p> <p>②食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることを理解している。</p> <p>③健康の保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、保健・医療サービスなどを適切に活用することが大切であることを理解している。</p> <p>④我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>①個人及び社会生活と関連付けたりして、他や社会の課題を発見すること。</p> <p>②食品の安全性と食品衛生にかかわる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して計画を建てること。</p> <p>③地域の医療機関の活用の方について、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。</p> <p>④健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して計画を建てること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>②食品の安全について、自身の日常生活に適用して大切にしている。</p> <p>③地域の医療機関を調べ、自身の健康・安全を確保している。</p> <p>④健康に感ずる環境づくりのために、自身で計画を立てて、その計画をもとに取り組んでいる。</p>	○	○	○	9
合計							39

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者： 伊藤、松岡

使用教科書： ( 現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して趣味に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・体ほぐしの運動 ・ストレッチ ・縄跳び ・ペア運動 ・実生活に生かす運動	【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:陸上競技〔ハードル、走り高跳〕 【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超すこと。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・フォームの確認 ・ゴムバーで助走と跳び方の確認 ・練習 ・タイム計測	【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超せている。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳べている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:球技 ネット型〔テニス〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・ラケットの握り方の確認 ・フォームの確認 ・ラリー練習 ・ボレー練習 ・サーブ練習 ・ミニゲーム ・ゲーム	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者： 伊藤、松岡

使用教科書： ( 現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して趣味に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・体ほぐしの運動 ・ストレッチ ・縄跳び ・ペア運動 ・実生活に生かす運動	【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:陸上競技〔ハードル、走り高跳〕 【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超すこと。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・フォームの確認 ・ゴムバーで助走と跳び方の確認 ・練習 ・タイム計測	【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超せている。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳べている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:球技 ネット型〔テニス〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・ラケットの握り方の確認 ・フォームの確認 ・ラリー練習 ・ボレー練習 ・サーブ練習 ・ミニゲーム ・ゲーム	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ 組

教科担当者： 伊藤、松岡

使用教科書： ( 現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して趣味に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・体ほぐしの運動 ・ストレッチ ・縄跳び ・ペア運動 ・実生活に生かす運動	【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:陸上競技〔ハードル、走り高跳〕 【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超すこと。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・フォームの確認 ・ゴムバーで助走と跳び方の確認 ・練習 ・タイム計測	【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超せている。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳べている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:球技 ネット型〔テニス〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・ラケットの握り方の確認 ・フォームの確認 ・ラリー練習 ・ボレー練習 ・サーブ練習 ・ミニゲーム ・ゲーム	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10



高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組～ 組

教科担当者： 伊藤、松岡

使用教科書： ( 現代高等保健体育 )

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して趣味に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元:体づくり運動 【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合おうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・体ほぐしの運動 ・ストレッチ ・縄跳び ・ペア運動 ・実生活に生かす運動	【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、体と心は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的にかかわり合える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:陸上競技〔ハードル、走り高跳〕 【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超すこと。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・フォームの確認 ・ゴムバーで助走と跳び方の確認 ・練習 ・タイム計測	【知識及び技能】 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く超せている。 ・走り高跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳べている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	単元:球技 ネット型〔テニス〕 【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保しようとしている。	・ランニング、筋力トレーニング ・柔軟体操 ・ラケットの握り方の確認 ・フォームの確認 ・ラリー練習 ・ボレー練習 ・サーブ練習 ・ミニゲーム ・ゲーム	【知識及び技能】 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防など自己やチームの課題を発見し自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テニスに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど健康・安全を確保している。	○	○	○	10





高等学校 令和8年度

教科 芸術

科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 A組

教科担当者：PERROT 励子

使用教科書：(音楽Ⅱ Tutti+)

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】音楽への関心を高め、豊かな音楽観を育てる。

【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージを表現するための技術を身につけ、それを生かして個性豊かに表現する。

【学びに向かう力、人間性等】感性を高め、音楽のよさや美しさを理解し、より豊かな人生を深める。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽への理解を深め、学習に主体的に取り組む。	個性豊かな音楽表現をするために必要な工夫をし、表現意図をもって取り組む。	多様な音楽に対する視野や理解を深め、それを生かして個性豊かな表現ができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創 賞					
1 学 期	<p>単元 個人演奏のための音楽表現</p> <p>【知識及び技能】 自分の選択した楽器の演奏技術を取得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 発表演奏のための曲を選曲し、表現方法を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の選択した楽器・曲に前向きに取り組む。</p>	<p>・ギターとピアノ、琴の楽器を使用しての実技演奏</p> <p>・演奏技術（強弱や曲としての完成）を習得し、自分の表現力を養う。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 音楽上の基本的な事項を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 音楽表現をするための技術を身につける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 音楽表現をどのように演奏するか、表現意図を持たせる。</p>	○	○	○	30
2 学 期	<p>単元 個人演奏のための音楽表現</p> <p>【知識及び技能】 自分の選択した楽器の演奏技術を駆使できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 発表演奏のための曲を選曲し、更なる表現方法を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の選択した楽器・曲に更なる個人表現をする。</p>	<p>・ギターとピアノ、琴の楽器を使用しての実技演奏</p> <p>・演奏技術（強弱や曲としての完成）を習得し、自分の表現力を養う。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 1学期に身につけた基本をもとに工夫をし、更なる応用曲に進む。</p> <p>【思考・判断・表現】 音楽的感性を高め、演奏技術を伸ばす。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 音楽活動を通して、より豊かな情操を養う。</p>	○	○	○	32
3 学 期	<p>単元 個人演奏のための音楽表現</p> <p>【知識及び技能】 自分の選択した楽器の演奏技術を無理なく表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 発表演奏のための曲を選曲し、その楽器を通して自分を表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 1年間のしめくりとなるべく個人表現をする。</p>	<p>・ギターとピアノ、琴の楽器を使用しての実技演奏</p> <p>・演奏技術（強弱や曲としての完成）を習得し、自分の表現力を養う。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 1年間の総仕上げとなるべく音楽表現のための創造性を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】 個性を生かして表現ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 音楽活動を通して、音楽文化についての理解を深める。</p>	○	○	○	16
									合 計	78





高等学校 令和8年度

教科 家庭

科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組

教科担当者： (A 組：高橋 瞳)

使用教科書： (新 図説家庭)

教科 家庭

の目標：

- 【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し自分や家庭・地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 社会における生活の中から問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど課題を解決する。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深める。生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともにそれらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭・地域の生活を創造、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1 自分らしい生き方と家族</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージごとの発達課題やライフイベントについて理解する。</li> <li>・青年期の課題である生活的・経済的・精神的・性的自立について理解し、自覚できるようにする。</li> </ul> <p>・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを多角的に理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業につく意義や多様化する就業形態について理解する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己分析をして、自分のことを紹介することができる。</li> <li>・将来の自分がつくる家族について考えようとしている。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生涯発達する人生</li> <li>2 これからの人生をデザインする</li> <li>3 青年期を生きる</li> <li>4 生活を支える労働</li> <li>5 生活時間から見えてくるもの</li> <li>6 共に生きる</li> <li>7 現代の家族</li> <li>8 家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題</li> <li>9 家族に関する法律の理念と変化</li> <li>10 家族にかかわる法律</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。</li> <li>・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家事労働について話合うことで現在の自分について理解し、他者の意見を聞き課題が見つければ改善することを考えられる。</li> <li>・自分自身の生活を見つめ自立へむけて課題を発見し、将来の発達課題ともかわらせ自身の将来について思考・判断することができる。</li> <li>・自分にとっての家族について考えることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己分析をして、周りの人に自分のことを紹介することができる。</li> <li>・人により家族と思う範囲や家族形態が異なることについてわかろうとしている。将来の自分がつくる家族について考えようとしている。</li> <li>・法律と自分のかかわりについて理解し、成年年齢の変更や理由・権利と責任などについて考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
<p>第2章 子どもとかわる</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠の成立から誕生までを理解することによりその重要性を認識する。</li> <li>・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴を学ぶ。</li> <li>・子どものものの見方・感じ方には子ども独特の世界があることを理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの食生活・衣生活について理解を深める。</li> <li>・遊びの影響や種類を理解し、今日の課題解決に向けた行動を挙げることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの交流を通して、遊びが豊かになるよう工夫することができるようにする。</li> <li>・家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの誕生</li> <li>2 からだの発達</li> <li>3 運動機能の発達と知的発達</li> <li>4 かかわりのなかの発達</li> <li>5 子どもの生活習慣と健康</li> <li>6 子どもの食生活・衣生活</li> <li>7 子どもと遊び</li> <li>8 親になることを考えよう</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠の成立から誕生までを理解することにより、その重要性を認識することができる。</li> <li>・妊婦体験を通して、妊婦の体の特徴を理解する。</li> <li>・誕生から幼児期までの子どものからだの発達について理解する。</li> <li>・運動機能の発達と知的発達について理解できる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じた子どもの基本的な生活習慣や社会的な生活習慣とその重要性について理解できる。</li> <li>・子どもの発達に対し、どのような関わり方がよいか考えることができる。</li> <li>・現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦体験を通して、妊婦への接し方について考え行動しようとする。</li> <li>・子どもの発達段階を考えたおもちゃを作成しようとしている。</li> <li>・保育実習などにおいて、子どもと関わろうとしている。</li> <li>・自分の現在・将来と結びつけながら、考え、学習しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	8

1 学期

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	<p>第3章 高齢者とかかわる社会とかかわる</p> <p>【知識・技能】 ・高齢社会の現状を理解するとともに、高齢者への理解を深める。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ボディメカニクスについて理解し介護の実態を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者体験をすることで、高齢期の過ごし方について自身のこと家族のことと結びつけながら考えようとしている。</p>	<p>1 高齢社会に生きる</p> <p>2 高齢者を知る</p> <p>3 高齢者のサポートと介護の心</p> <p>4 高齢社会を支えるしくみ</p>	<p>【知識・技能】 ・加齢に伴う心身の変化や特徴について理解し、その変化については個人差があることも理解できる。 ・高齢者にとって家族とはどのような存在なのか、高齢者の経済状況や社会参加状況などについて理解を深めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・認知症の症状と接し方について理解し、相手のことを理解しようとし支えられる側から、支える側になっていこうとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者体験をすることで、高齢期の過ごし方について自身のこと家族のことと結びつけながら考えようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>第4章 共に生き共に</p> <p>【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返り地域社会に参画しようとする。</p>	<p>1 共に生きるために</p> <p>2 社会保障制度</p> <p>3 社会の一員としての私たちの役割</p>	<p>【知識・技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>食生活をつくる</p> <p>【知識・技能】 ・現代の食生活の傾向を理解し、健康的な食生活の必要性に気づく。 ・栄養とからだのつながりや栄養素と水のはたらきを理解する。 ・食品の旬や選択する際のポイント、食品の品質表示について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・食中毒の種類を学び衛生的な管理に結びつける。 ・安全なものを食べるための取り組み、環境への取り組みを考える。 ・食事摂取基準を理解し、実際にバランスのよい食事計画につなげることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・調理実習を通して、調理技術を習得する。</p>	<p>1 私たちの食生活と健康</p> <p>2～7 5大栄養素</p> <p>8 その他の食品</p> <p>9 食品の選択と表示</p> <p>10 食品の衛生</p> <p>11 食料自給率と食のグローバル化</p> <p>12 食の未来と環境への取り組み</p> <p>13 食事摂取基準</p> <p>14 食品群別摂取量のめやす</p>	<p>【知識・技能】 ・生活習慣病、摂食障害、月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。 ・5大栄養素と水についての基礎的知識を習得できる。 ・食中毒の種類や予防法等について理解できる。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身に付け、それを実際の食生活に生かすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・外食やコ食について理解を深めようとしている。 ・食品と栄養、調理との関係において科学的な視点をもって知識を深めようとしている。 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身に付け、それを実際の食生活に生かすことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の現在の食生活を振り返り、改善にむけて積極的に取り組もうとしている。 ・食中毒の種類や予防法等について学び、衛生的な調理や食事管理ができるようになる。 ・食品添加物の種類やその使用の目的について理解し、安全性についても考えることができる。 ・食事マナーを身に付け、楽しく食事することができる。</p>	○	○	○	12
2 学期	<p>衣生活をつくる</p> <p>【知識・技能】 ・衣服の機能を理解する。 ・繊維の種類と特徴について理解する。 ・糸と布の種類・構造について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・衣服素材の性能について理解し、衣服の入手から処分まで衣生活を計画的に考えられるようになる。 ・衣服を購入する際の表示の見方がわかる。 ・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の方法や注意点を理解する。 ・家庭洗濯の方法とポイントを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>1 人と衣服のかかわり</p> <p>2 健康で安全な衣服</p> <p>3 衣服素材の種類と特徴</p> <p>4 衣服素材の性能と改善</p> <p>5 衣生活の計画と購入</p> <p>6 衣服の管理</p> <p>7 家庭での洗濯・保管</p> <p>8 持続可能な衣生活をつくる</p>	<p>【知識・技能】 ・自然環境と衣服のかかわり、社会環境と衣服の関係から衣服が持つ機能を理解することができる。 ・繊維の種類と特徴と用途が理解できる。 ・織物・編物の種類や構造が理解できる。 ・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の種類や洗剤のはたらきについて理解できる。 ・アイロンを適切にかけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・快適な衣服とはどのような着心地か考えられる。 ・衣服の購入の際、自分のサイズを把握し表示から必要な情報を読み取ることができる。 ・衣服材料・衣服管理・整理についての基礎的な知識を身に付け、衣服管理において適切な判断ができる。 ・アイロンを適切にかけることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・実験に積極的に参加しようとしている。 ・被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10



年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度

教科

情報

科目

情報 I

教科: 情報

科目:

情報 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 A 組

教科担当者: 朝倉 真実

使用教科書: ( 新編 情報 I 東京書籍 )

教科 情報 の目標:

- 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

科目 情報 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名 情報社会・表計算	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得		○	○	○	2
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の発言・行動観察	○	○	○	2
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の	○	○	○	5
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の	○	○	○	3
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の	○	○	○	3
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の	○	○	○	3
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の	○	○	○	2
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の	○	○	○	3
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の	○	○	○	3
	【知識及び技能】単元における仕組みを理解し、構築する。 【思考力、判断力、表現力等】単元における内容について再表現する。 【学びに向かう力、人間性等】PC作業に対して積極的に向き合う態度を養う。	Microsoft Excelの基本的な使い方の習得 Microsoft Excelの演習プリント	【知識・技能】 小テスト 【思考・知識・判断】 ノートやプリント、提出物の取り組み状況・作業観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の	○	○	○	3



高等学校 令和8年度

教科 情報 科目 情報Ⅱ

教科： 情報

科目： 情報Ⅱ

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 4 学年

教科担当者： ( 菊池 信隆 )

使用教科書：

( 東京書籍 情報Ⅱ )

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

科目 情報Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション 1 情報社会の進展と情報技術 実4 POSシステムを調べる	・情報Ⅱの学習目標とシラバスを理解する。 ・実習の際の学習方法を理解する。 ・情報技術が進歩し、情報システムがさまざまな分野で活用されていることを理解する。 ・情報システムによる情報の流れを体験し、理解する。	・問題解決学習のステップを理解できるか。 ・情報システムとそれを実現している情報の流れを理解できるか。 ・情報システムの活用と、社会への影響を理解できるか。	○	○	○	12
2 コミュニケーションの多様化 コミュニケーションの特徴の具体例を 挙げる 実1 うわさの研究	・コミュニケーション手段の分類や特徴を意識し、考える。 ・状況に適したコミュニケーションの手段を考える。 ・うわさの研究を通してコミュニケーションの手法によってどのように情報が伝わるかを研究する。	・コミュニケーション手段の分類や特徴を考えることができるか。 ・状況に適したコミュニケーション手段を考え、選択することができるか。 ・粘り強く、多様な意見をまとめようとしているか。	○	○	○	12
定期考査						1
4 メディアの特性と利用 実10 学校PRプロジェクト(Webページ 作成) (2 コミュニケーションの多様化)	・メディアの特性について学習する。 ・広告による、メディアの特性を利用したメディアの利用を知る。 ・メディアミックスやクロスメディアの考え方を理解する。 ・学校PRの目的と、コミュニケーションの特徴、メディアの特性から適切な学校PR方法を検討する。	・メディアの特性を理解できるか。 ・特性に応じたメディアの利用を判断できるか。 ・メディアミックスやクロスメディアの考え方を理解できるか。 ・学校PR方法をメディアの特性から判断することができるか。	○	○	○	15
5 コンテンツ制作 実10 学校PRプロジェクト(Webページ を作成する)	・学校PRプロジェクトに取り組むことで、アクセシビリティやユニバーサルデザインを考えた情報コンテンツの作成を学習する。 ・画像による表現、音による表現、動画による表現のメリットデメリットを考え、情報の受け手を意識した学校PRのコンテンツ制作をする。	・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から適切な情報の表現ができるか。 ・アクセシビリティやユニバーサルデザインを意識したコンテンツを作成しているか。 ・情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できるか。 ・分かりやすい学校PRのWebページを作ろうとしているか。	○	○	○	12
定期考査						1

2 学 期	7 社会にあふれるデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの分類や特性を理解する。</li> <li>データベース管理システムの特徴を理解する。</li> <li>構造化データと非構造化データを具体例から知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの分類や特性を理解できるか。</li> <li>データベース管理システムの特徴を理解できるか。</li> </ul>	○	○	○	12
	8 データベースの管理と操作 p.79の図2の現在貸出中の書籍の書名と著者名を調べてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係データベースについて学習する。</li> <li>正規化は具体的にどのようなものか知る。</li> <li>関係データベースの演算について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係データベースの特徴と使い方を理解できるか。</li> <li>正規化がどのような操作で、なぜ必要なのかを理解できるか。</li> <li>関係データベースから演算により必要なデータを取り出すことができるか。</li> </ul>	○	○	○	17
	定期考査						1
	13 情報システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような情報技術を活用し、身近な生活を支える情報システムが実現されているかを理解する。</li> <li>仮想通貨や電子マネーなど、情報システムのサービスの利用が生活に与える効果と影響を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICタグやNFCなど、情報システムを実現している技術と情報の流れを理解できるか。</li> <li>情報システムのサービスを利用することによる暮らしの変化、効果や影響を考えることができるか。</li> </ul>	○	○	○	12
	14 情報セキュリティ技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティのための3原則を学ぶ。</li> <li>情報セキュリティを高めるための技術を学習する。</li> <li>暗号化の技術、特に共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の仕組み、違いを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報セキュリティの基本的な考え方やセキュリティポリシーを理解できるか。</li> <li>情報セキュリティを高めるための技術を理解できるか。</li> <li>暗号化技術、特に共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の仕組み、違いを理解できるか。</li> </ul>	○	○	○	12
定期考査						1	
3 学 期	16 情報システムのプログラム 実23 掲示板を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの書き方を学習する。</li> <li>プログラミング言語を選択するために、言語プロセッサについて、その種類を学習する。</li> <li>開発環境の存在や使い方を学習する。</li> <li>掲示板の作成を役割分担し、工夫してシステム開発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人に分かりやすいプログラムを書くことの重要性とその実現のためのプログラムの書き方を理解できるか。</li> <li>言語プロセッサの種類を知り、掲示板作成に適切な言語を判断できるか。</li> <li>開発環境を知り、活用することができる。</li> </ul>				9
合計							117









令和8年度 第2学年 人間と社会 年間指導計画

都立松原高等学校定時制課程

- 1 授業の1単位時間：（45分）
- 2 生徒数 7名
- 3 年間指導計画：

学期	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間	
				演習	体験
1	事前学習	各テーマと体験活動について説明	体験活動の意義・目的	2	
	人間関係を築く	良好な人間関係を構築するコミュニケーションの取り方や他者理解	自他を大切にす る態度	4	2
	支え合う社会	地域社会とのつながる大切さを意識 地域のイベント「しもたか商店街ク リーン大作戦」へ参加し、地域課題を 理解	規範意識の向上	2	2
		地域社会を築く		地域が取り組む環境維持について理解 地域の課題を理解し、環境美化やマ ナーの促進ポスターを制作（地域との つながり）	2
	働くことの意義	校内において仕事分野別ワークショップを展開し、自己の将来と照らし合わせ、興味・関心のある仕事を体験	社会的自立に向 けた自己発見	4	
2	支え合う社会	減災に向けた自助・共助についてグ ループ討議（災害発生時における高校 生の役割を理解）	行動力・判断力 の育成	2	2
		地域社会の問題解決能力についての理 解		2	
		「火の用心」を促すポスター制作によ り地域への安心・安全についての理解 （地域貢献）	地域への自発的 な貢献力		2
		地域社会とつながることの大切さの再 認識			2
3	地域社会を築く	学校最寄駅周辺の清掃活動を実施し、 地域社会が抱える問題について理解	地域社会へ 関わる行動力	2	2
	働くことの意義	本校卒業生を招き「なぜ学ぶのか」を テーマにグループで意見交換し、学ぶ ことの意義を理解	進路実現に向 けた人間力の向上	4	
	事後指導	振り返りと意識変化について自己評価	授業をとおし て身に付けた考 え方の再認識	2	
配 当 時 間 合 計				26	14